

昭和63年度 関西支所研究課題一覧表

関西地域研究推進目標による研究課題

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
X V. 風致 林及び都市近 郊林の育成管 理技術の高度 化 (有光一登)	1. 都市近郊林の造成・管理技術の向上			前田 満
	(1)都市林の地力増進技術の改善			吉岡 二郎
	① 根圏土壌の改良	60～2	土 壌	鳥居 厚志
	(2)都市的環境下における病虫害発生機構の解明 とその防除法の確立			伊藤 進一郎
	① 病害発生情報の収集と発生動向の解析	60～5	樹 病	伊藤 進一郎
	③ 突発性害虫の生態	60～5	昆 虫	細田 隆治
	⑤ 吉野ほか有名サクラ植栽地における退廃の 病因解明と防除	51～2	樹 病	山田 利博
	⑥ 暖温帯地域の都市近郊樹林等森林の特性 —暖温帯地域の昆虫相—	61～63	昆 虫	田畑 勝洋
	⑦ 暖温帯地域の都市近郊樹林等森林の特性 —暖温帯地域の鳥獣相—	61～63	昆 虫	北原 英治
	(3)都市近郊林の林相管理技術の向上			陶山 正憲
	① アカマツ・落葉広葉樹林の取扱いと林相推 移	63～2	造 林	河原 輝彦
	③ 林内環境下における更新樹の成長過程の解 明			
	a ヒノキ天然更新稚樹の成立過程の解明	60～2	造 林	河原 輝彦
	b 樹下植栽木の生長過程の解明	63～2	造 林	清野 嘉之
	⑤ 大阪営林局管内における複層林の収穫予測 法の開発	61～2	経 営	家原 敏郎
	⑥ 関西地方における樹木衰退の実態とその立 地要因	62～3	造 林	清野 嘉之
	⑦ 暖温帯地域の都市近郊樹林等森林の特性 —暖温帯地域の植物相—	61～63	造 林	河原 輝彦
	(4)竹林管理技術の確立			陶山 正憲
	① 竹林の生産力と土壌条件の解明			
	a 竹材生産のための土壌条件の解明	60～2	土 壌	西田 豊昭
② 竹林の取扱いと再生産の関係解明	63～2	造 林	河原 輝彦	

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
XVI. 関西地域における森林造成技術と経営管理方式の確立 (有光一登)	④ 竹林・竹材害虫の生態とその防除法の確立	63～6	昆虫	田畑勝洋
	2. 都市近郊林の防災的管理技術の向上			陶山正憲
	(1) 森林の土保全機能の解明と治山工法の改善			服部重昭
	① 根系と A ₀ 層被覆による土砂生産の軽減効果	63～2	防災	阿部敏夫
	② 排水工の効果の実験的検討	60～63	防災	服部重昭
	④ 山火事跡地の植生回復	63～2	造林	井鷲裕司
	⑤ 樹種別の耐火性	61～2	防災	小林忠一
	(2) 温暖少雨地帯における森林の水保全機能の評価手法の開発			服部重昭
	⑤ 温暖少雨地帯における林況変化が流出に及ぼす影響	60～9	防災	阿部敏夫
	⑥ 寡雨乾燥地域における土壌構造と水移動及び保水メカニズムの解明	63～3	土壌	鳥居厚志
	3. 風致林の機能解明と管理技術の向上			陶山正憲
	(1) 風致林の機能評価と育成・管理技術の向上			天野正博
	① 風致機能の計量的評価法	63～5	風致林	野田巖
	③ 針広混交林誘導試験	63～2	造林	井鷲裕司
	1. 畿陽アカマツ林帯における森林造成技術の確立			陶山正憲
	(1) 立地特性の解明と林地利用区分			吉岡二郎
	(2) 地力維持増進技術の向上			吉岡二郎
	(3) 立地条件別育成管理技術の向上			陶山正憲
	(4) 病虫獣害の防除法の確立			田畑勝洋
	① ヒノキ主要病害の発生生態の解明と被害防止の技術開発			
	a ヒノキ樹脂胴枯病の発生生態の解明	60～5	樹病	山田利博
	③ 主要害虫の被害防止技術の開発			
	a 主要害虫の被害防止技術の開発	63～6	昆虫	田畑勝洋
④ ノウサギの被害防止技術の開発	63～6	昆虫	山田文雄	
⑤ 野ネズミの被害防止技術の開発	63～6	昆虫	北原英治	
⑥ ニホンジカの個体群変動機構と個体群管理技術	63～8	昆虫	小泉透	
⑦ 松くい虫個体群動態とマツ枯損の疫学的解明				

昭和63年度関西支所研究課題一覧表

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
	a 激害跡地のマツ二次林における松くい虫 個体群動態	63～元	昆虫	田畑勝洋
	b 残存マツ林の特性	63～	昆虫	田畑勝洋
	(5) 施業技術の体系化と経営的評価			黒川泰亨
2. 良質材生産技術の高度化と経営管理方式の確立	(1) 林業技術の地域特性の解明			前田満
	② 保育形式比較試験	60～63	造林	陶山正憲
	④ 直径分布の推移と林分成長の関係解析	60～3	経営	河原輝彦
	⑤ 近畿・中国地域のスギ・ヒノキ長伐期林分 の実態解析と収穫予測	63～元	経営	家原敏郎
	⑦ 人工造林地に更新した有用広葉樹の育成技 術	63～2	造林	河原輝彦
	(2) 材質劣化防止技術の確立			伊藤進一郎
	③ スギカミキリなど穿孔性害虫の個体群密度 と被害発生条件			
	a スギカミキリの大量飼育法の確立と被害 発生条件の解明	63～5	昆虫	細田隆治
	b スギカミキリの被害発生予察法と防除の 確立	63～5	昆虫	伊藤賢介
	⑤ 材質劣化に関与する獣害の究明			
	a 材質劣化に関与する獣害の究明	63～5	昆虫	山田文雄
	⑥ マツノザイセンチュウの侵入により引き起 されるマツ組織の代謝異常	63	樹病	黒田慶子
	(3) 経営管理方式の確立			黒川泰亨
	① 林業経営技術体系の確立	60～63	経営	岩水豊
	② 林業経営管理手法の開発	60～3	経営	黒川泰亨
	④ 地域林業組織化方式の確立			
	a 地域林業組織化方式の確立	60～3	経営	黒川泰亨
	b 経済環境の変化に対応した木材価格の変 動予測モデル	62～元	風致林	天野正博

広領域・特定問題研究課題

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
特別研究 〔松跡ヒノキ〕	低位生産地帯のマツ枯損跡地におけるヒノキ人工林育成技術の確立	(60~63)		
	1) 低位生産地帯の立地特性の解明と適地区分法の開発			
	(2)低位生産地帯のヒノキ造林適地区分法の開発			
	① 造林適地区分法の作成一近畿・山陽花崗岩山地	60~63	土 壤	吉岡二郎
	2) 低位生産地帯におけるヒノキ人工林育成技術の開発			
	(1)立地条件別育成技術の開発			
	① 立地条件別育成技術の開発一近畿・山陽東部・山陰山地	60~63	造 林	河原輝彦
	(2)樹種混交, 肥培等による地力維持増進技術の改善			
	① 土壌流亡防止に与える混交効果の解明	60~63	防 災	服部重昭
	② 物質循環に与える混交効果の解明	60~63	造 林	河原輝彦
	③ 土壌に与える混交効果の解明	60~63	土 壤	吉岡二郎
	④ 幼齡木に対する施肥効果の解明	60~63	土 壤	吉岡二郎
	3) 低位生産地帯におけるヒノキ人工林保護管理技術の開発			
	(2)ノウサギの食害防止法の開発			
	① ノウサギの食害要因の解明	60~63	昆 虫	山田文雄
(3)抵抗性早期検定手法の開発				
① 乾燥抵抗性の機構解明と早期検定手法の開発	60~63	造 林	河原輝彦	
② 樹脂胴枯病抵抗性早期検定手法の開発	60~63	樹 病	伊藤進一郎	
4) ヒノキ人工林の經營的評価法の開発と育成技術の体系化				
(2)育成技術の体系化				
① 立地条件別育成技術の体系化	60~63	經 営	長谷川敬一	
② 新育成技術体系の經營的評価	60~63	經 営	長谷川敬一	
5) 低位生産地帯におけるマツ人工林保護管理技術の開発				

昭和63年度関西支所研究課題一覧表

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者	
〔土壌部門〕 3. 林地の合理的利用のための立地区分技術の向上	(1)抵抗性強化技術の開発 ① マツノザイセンチュウの弱病原性系統の選抜	60～63	樹病	伊藤進一郎	
	1) 林野土壌分類の精密化 (4)未熟土壌の特性・成熟過程の解明と分類の改善 ② 低山帯の未熟土壌の特性解明	60～2	土壌	西田豊昭	
〔防災部門〕 3. 森林の水土保全・防災機能の維持・増進技術の高度化	1) 森林の水土保全機能の解明と維持・増進技術の向上 (1)山地流域における水循環の解明 ② 寡雨乾燥地域の森林における水循環過程の解明	63～3	防災	服部重昭	
	〔保護部門〕 1. 森林病害防除技術の向上	1) 病害発生動向の解明 (2)病害発生情報の収集と発生動向の解析 ① 突発性病害の発生生態 ② 病害発生情報の収集と解析	60～6 60～6	樹病 樹病	伊藤進一郎 伊藤進一郎
3) 森林病害防除技術の改善および新防除技術の開発 (1)抵抗性要因の解明と早期検定法の確立 ② マツ材線虫病における抵抗性機構		60～6	樹病	伊藤進一郎	
2. 森林害虫防除技術の向上		1) 森林昆虫および天敵の分類、検索と生理・生態の解明 (1)森林害虫の発生情報の収集と発生動向の解析 ② 害虫発生情報の収集と解析	60～6	昆虫	田畑勝洋
		3) 新防除法の開発・改良および害虫管理手法の体系化 (1)森林害虫被害発生予察技術の確立 ① 松くい虫被害の発生予察	60～2	昆虫	田畑勝洋